

# 令和元年度第4回(通算第10回) 学校再編検討会議

## 参考資料

①	三木市立小中学校の学校再編に関する実施方針(抜粋) (令和元年10月3日)	1
②	三木市の学校再編について 提言書(抜粋) (令和元年8月22日)	3
③	統合準備委員会だより (1) 志染・緑が丘中学校区 No.1、NO.2 (2) 吉川小学校区 No.1	6
④	小中一貫教育研究報告	11



# 三木市立小中学校の学校再編に関する 実施方針

令和元年10月3日

三木市教育委員会

4 喫緊の課題への対応

(1) 志染中学校

ア 統合校・統合時期

志染中学校は、令和3年度に緑が丘中学校と統合する。

イ 統合校・統合時期の根拠

- ① 統合校として緑が丘中学校と自由が丘中学校のいずれにするか、保護者や地域の方の意見は統一されていなかったが、緑が丘中学校は、地理的に東西に長い志染地区のほぼ中間点に位置することから、統合校は緑が丘中学校とする。
- ② 志染地区の方の生活圏は、自由が丘よりも緑が丘、青山との意見があった。
- ③ 統合時期については、一定の準備期間は必要であるが、生徒数減少が顕著であり、早急な対応を要する。

図表6 校区内に在住する子どもの人口

(単位：人)

満年齢	1才					2才					3才				
	1才	2才	3才	4才	5才	6才	7才	8才	9才	10才	11才	12才	13才	14才	
学年						小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
志染中校区	7	11	10	11	9	6	10	12	10	15	7	19	16	12	
緑が丘中校区	92	99	110	103	143	117	132	131	128	120	106	140	114	147	
合計	99	110	120	114	152	123	142	143	138	135	113	159	130	159	

(2019年4月1日現在の住民基本台帳から)

(2) 星陽中学校

ア 統合校・統合時期

- ① 星陽中学校の「細川地区」は、令和4年度に三木中学校と統合する。
- ② 星陽中学校の「口吉川地区」は、令和4年度の統合に向け、統合校を決定する。統合校については、学校再編検討会議の提言を待つこととする。

イ 統合校・統合時期の根拠

- ① 細川地区は、保護者、地域ともに、三木中学校との統合を望んでいるため、統合校を三木中学校とする。
- ② 口吉川地区は、保護者や地域の方の意見の集約に時間を要するため、学校再編検討会議の提言を待つこととする。
- ③ 統合時期については、星陽中学校は細川地区と口吉川地区で構成されているため、一定の準備期間を要する。

図表7 校区内に在住する子どもの人口

(単位：人)

満年齢	1才					2才					3才				
	1才	2才	3才	4才	5才	6才	7才	8才	9才	10才	11才	12才	13才	14才	
学年						小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
細川地区	7	9	10	8	7	7	12	9	5	9	9	10	13	8	
口吉川地区	3	4	11	8	8	16	8	16	15	12	10	8	10	7	
三木中校区	140	156	132	140	127	149	145	113	102	131	130	131	120	113	
吉川中校区	35	28	28	44	37	28	41	31	44	46	44	44	37	54	

(2019年4月1日現在の住民基本台帳から)

三木市の学校再編について  
提言書

令和元年 8 月 22 日

三木市学校再編検討会議

## 1 喫緊の課題とする学校の統合について

児童・生徒数の減少が著しく、喫緊の課題とする学校の統合については、これまでの保護者や地域の方との意見交換会、学校再編検討会議での意見聴取などの内容を踏まえ、次のとおりとする。

### (1) 志染中学校の統合

#### ア 統合校

志染中学校は、緑が丘中学校と統合する。

- 統合校として緑が丘中学校と自由が丘中学校のいずれにするか、保護者や地域の方の意見は統一されていないが、緑が丘中学校は、地理的に東西に長い志染地区のほぼ中間点に位置することから、統合校は緑が丘中学校とする。
- 志染地区の方の生活圏は、自由が丘よりも緑が丘、青山との意見があった。

#### イ 統合時期

志染中学校と緑が丘中学校との統合は、令和3年度に行う。

- 一定の準備期間は必要であるが、生徒数減少が顕著であり、早急な対応を要する。

### (2) 星陽中学校の統合

#### ア 統合校

- ① 星陽中学校の「細川地区」は、三木中学校と統合する

- 細川地区は、保護者、地域ともに、三木中学校との統合を望んでいる。

- ② 星陽中学校の「口吉川地区」は、吉川中学校との統合を当会として提示したが、保護者や地域の方の意見の集約に時間を要するため、附帯意見を付して、当会で審議を継続する。

#### イ 統合時期

星陽中学校の統合は、令和4年度に行う。

- 星陽中学校は、細川地区と口吉川地区で構成されているため、一定の準備期間を要する。

#### 【附帯意見】

星陽中学校は、細川地区と口吉川地区の生徒で構成しているため、口吉川地区においては、統合時期を遅らせることがないよう、保護者及び地域の方による協議を早急に進められることを望むものである。

### (3) 吉川4小学校の統合

#### ア 統合校

吉川の4小学校は、みなぎ台小学校に集約し、統合する。

児童数、教室数、建築年度等を勘案し、みなぎ台小学校に他の3小学校を集約する。

#### イ 統合時期

- 中吉川小学校：令和3年度

一定の準備期間は必要であるが、早急な対応を要する。

- 上吉川小学校：令和3年度

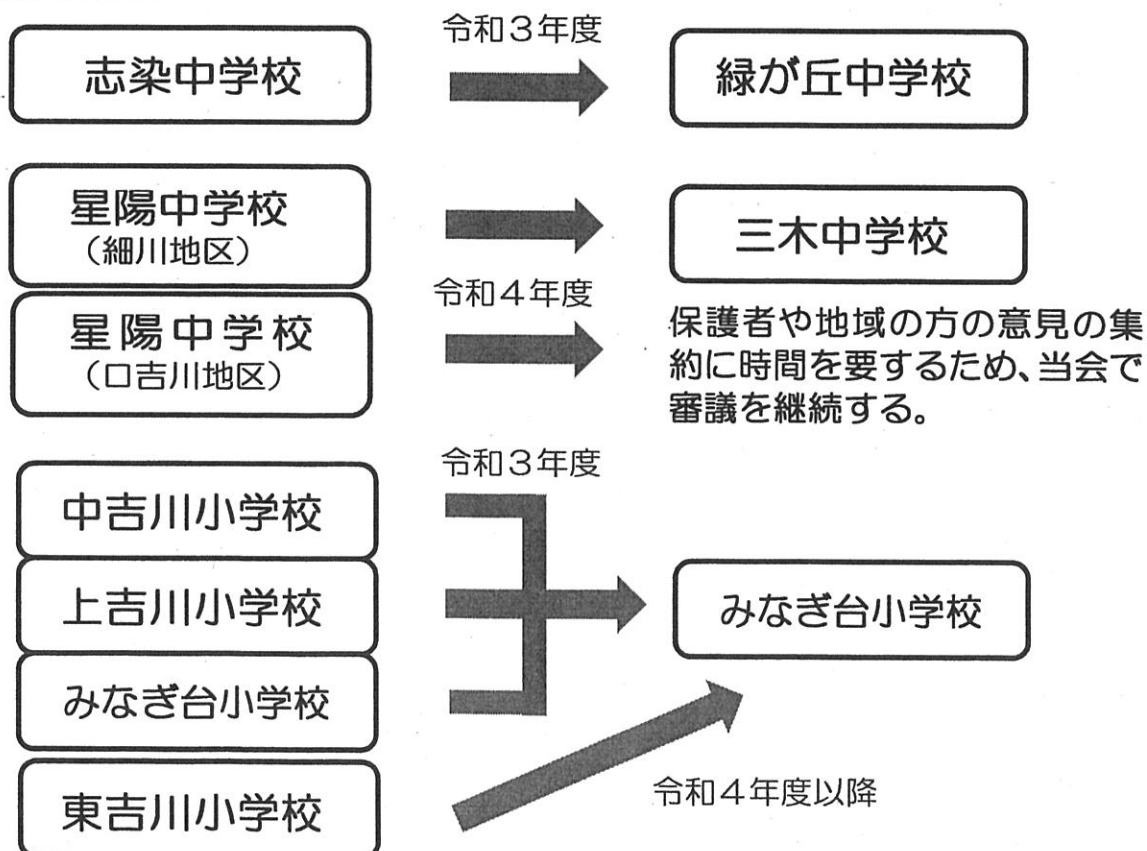
複式学級化が進んでおり、早急な統合を実施する必要がある。

- 東吉川小学校：学校の存続を望む意見が多く寄せられたことから、保護者や地域の方のご意見をお聴きしながら、令和4年度以降に統合する。

#### 【附帯意見】

吉川の4小学校は、3校を先行して統合すると当会として提示したが、遅れて統合する1校の児童への影響を考慮すると、4校同時に統合することが望ましいと考える。しかしながら、保護者や地域の方の思いを考慮し、東吉川小学校の統合時期を遅らせる提言となった。統合の時期については、保護者と地域の方で協議し、できるだけ早い時期に統合することを望むものである。

### (4) 統合のまとめ







# 志染・緑が丘中学校区 統合準備委員会だより

令和元年11月12日発行

No.1

志染・緑が丘中学校区統合準備委員会  
三木市教育委員会

三木市教育委員会では、10月3日に「三木市立小中学校の学校再編に関する実施方針」を策定し、志染中学校は、令和3年度に緑が丘中学校と統合することが決まりました。

そして、このたび、志染中学校と緑が丘中学校の統合を円滑に進めるため、志染・緑が丘・青山地区代表者、志染中・緑が丘中・志染小・緑が丘小・緑が丘東小保護者代表者及び学校代表者で組織する「志染・緑が丘中学校区統合準備委員会」（以下「統合準備委員会」という。）を立ち上げました。今後、統合準備委員会では、令和3年4月の統合に向けて様々な準備を進めていきます。

## 統合準備委員会について

統合準備委員会では、4つの部会を設置し、統合に関する必要な事項について、具体的に検討及び協議をしています。各部会で検討及び協議した内容は、統合準備委員会に報告し、承認又は決定していきます。

統合準備委員会での協議内容や決定事項は、「統合準備委員会だより」や三木市教育委員会ホームページなどでお知らせします。



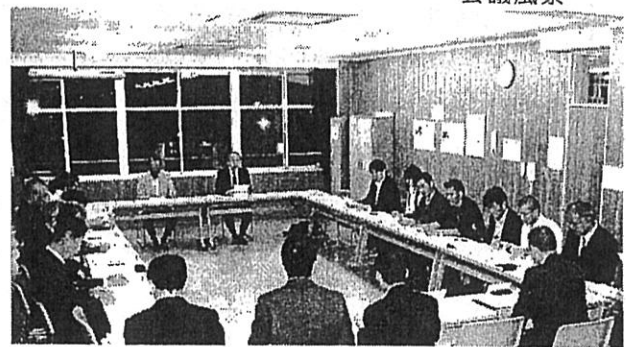
## 第1回統合準備委員会を開催しました！

10月28日（月）午後7時から、志染町公民館において、第1回統合準備委員会を開催しました。委員の互選により、委員長、副委員長及び各部会の部会長、副部会長が次のとおり決まりました。

委員長	副委員長
三宅 仁見	藪本 耕一

部会名	部会長	副部会長
総務部会	山本 学道	野口 博史 大西 秀樹
PTA部会	大西 秀樹	酒井 一輝
学校運営部会	野口 博史	山本 学道
通学・安全部会	田中 隆次	今枝 睦典 東口 由美

会議風景



次回の統合準備委員会は、12月中旬の開催を予定しています。開催日時及び開催場所は、三木市教育委員会ホームページでお知らせします。

お問い合わせ

三木市教育委員会学校教育課  
電話 0794-89-2400

ホームページ URL <https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/61/4046.html>

又は、「三木市 学校再編」で検索

# 志染・緑が丘中学校区 統合準備委員会だより

令和2年1月7日発行

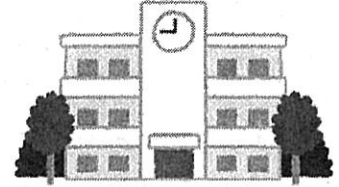
No.2

志染・緑が丘中学校区統合準備委員会  
三木市教育委員会

## 第2回統合準備委員会を開催しました！

12月18日（水）午後7時から、緑が丘中学校において、第2回統合準備委員会を開催しました。

今回の会議では、各部会での協議内容等について報告及び協議が行われました。その内容についてお知らせします。



### 総務部会

#### ○承認事項

統合校の学校の名称は、「緑が丘中学校」とすることが妥当

【統合準備委員会として決定した事項を三木市教育委員会へ提案する。】

（主な理由）

- ・ 地域や保護者の方から、学校の名称を変えるべきという意見を聞くことは少なかった。
- ・ 統合までの準備期間が限られている中で、学校の名称を変えることについて協議をすることは、大きな労力と時間をかけてしまうことになる。また、地域にも混乱を招くことが予想される。
- ・ 将来を見据え、小学校を含めた、小中一貫教育を行う学校への再編の際に、検討することとする。

#### ○報告事項

- ・ 校章：協議を継続する。今後、統合準備委員会やPTA部会などで関連する事項が出た際に、具体的に検討する。
- ・ 校歌：協議を継続する。両中学校区の地域に合うような歌詞にする。統合後2年間は、式典等において両校の校歌を歌うなど、工夫する。お互いの地域を大切にしたい取組を検討する。

### PTA部会

#### ○報告事項

- ・ アンケートの実施：PTA活動や役員、制服、通学方法など、統合に関わる様々な事項について、志染中学校区の保護者の意見や希望を把握するため、志染小学校及び志染中学校の保護者を対象にアンケートを実施した。アンケートの結果を集約し、志染中学校区で一定の方向性をまとめ、それをもとに、緑が丘中学校区と協議し、PTA部会としての方向性をまとめていく。
- ・ 制服及び体操服の取扱い：今後の生徒の交流の様子を見ながら、子どもたちにとってよりよい案を検討していく。

## 学校運営部会

### ○報告事項

- ・ 志染の子どもたちも、緑が丘の子どもたちも、全員が違和感なく令和3年度をスタートできるようにするため、学校運営部会で検討すべき項目を整理した。
- ・ 今後は、両校の担当教員が集まり、打合せ会を進めていく。まずは、風紀規定など、子どもたちの身近なところから、両校で共通していること、異なっていることを整理していく。
- ・ 歴史や文化、環境が違う2校が一つになる。お互いの違いを認め合うということを大切にしながら、部会での検討を進めていく。

## 通学・安全部会

### ○報告事項

- ・ 通学方法について、保護者アンケートの結果も参考にしながら、次の3点について検討を進める。
  - ① 先に三木市教育委員会が示したバス通学案をもとに、さらに多くの生徒がバスを利用することができないか。
  - ② 現在の通学と同様の方法で志染中学校に集まり、志染中学校から緑が丘中学校までをバスで往復することができないか。
  - ③ 先に三木市教育委員会が示した自転車通学ルート以外に、ルートを設定することができないか。

会議風景



次回の統合準備委員会は、3月上旬の開催を予定しています。

開催日時及び開催場所は、三木市教育委員会ホームページでお知らせします。

お問い合わせ  
三木市教育委員会学校教育課  
電話 0794-89-2400

ホームページ URL <https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/61/4046.html>  
又は、「三木市 学校再編」で検索

# 吉川小学校区 統合準備委員会だより

令和元年11月12日発行

No.1

吉川小学校区統合準備委員会  
三木市教育委員会

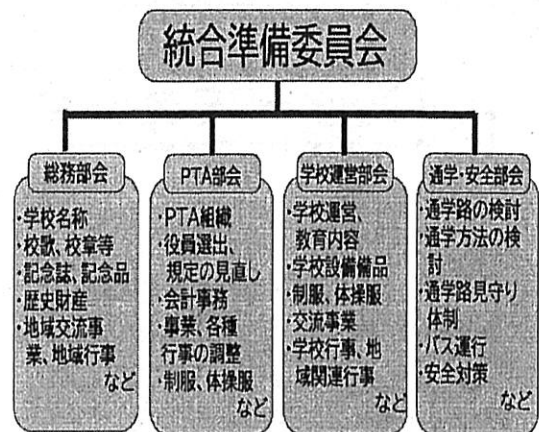
三木市教育委員会では、10月3日に「三木市立小中学校の学校再編に関する実施方針」を策定し、吉川の4小学校は、みなぎ台小学校に集約し、中吉川小学校、上吉川小学校、みなぎ台小学校は令和3年度に、東吉川小学校は令和4年度以降できるだけ早い時期に統合することが決まりました。

そして、このたび、吉川4小学校の統合を円滑に進めるため、吉川地区代表者、中吉川小・上吉川小・みなぎ台小・東吉川小保護者代表者及び学校代表者、よかわ認定こども園保護者代表者で組織する「吉川小学校区統合準備委員会」（以下「統合準備委員会」という。）を立ち上げました。今後、統合準備委員会では、令和3年4月の統合に向けて様々な準備を進めていきます。

## 統合準備委員会について

統合準備委員会では、4つの部会を設置し、統合に関する必要な事項について、具体的に検討及び協議をしていきます。各部会で検討及び協議した内容は、統合準備委員会へ報告し、承認又は決定していきます。

統合準備委員会での協議内容や決定事項は、「統合準備委員会だより」や三木市教育委員会ホームページなどでお知らせします。



## 第1回統合準備委員会を開催しました！

10月31日（木）午後7時から、みなぎ台小学校において、第1回統合準備委員会を開催しました。委員の互選により、委員長、副委員長及び各部会の部会長、副部会長が右記のとおり決まりました。

また、次のことが協議され、方向性が決まりました。

### ○新しい学校名を検討する。

- (1) 総務部会において、保護者や地域の方から意見を募り、新しい学校名の案を作成する。
- (2) 次回の統合準備委員会で、総務部会が作成した案について協議する。

委員長	副委員長	
山本 貴美江	谷郷 祐次	
部会名	部会長	副部会長
総務部会	藤川 桂	西中 記美代 佐野 喜晴
PTA部会	阪本 俊治	大畑 しづか
学校運営部会	長谷川 珠里	田中 達也
通学・安全部会	谷郷 祐次	荒田 のり子

次回の統合準備委員会は、来年1月中旬の開催を予定しています。開催日時及び開催場所は、三木市教育委員会ホームページでお知らせします。

お問い合わせ  
三木市教育委員会学校教育課  
電話 0794-89-2400

# 小中一貫教育研究報告

三木市教育委員会

## 先進校視察 小中一貫校（7校）

- ・いまみや小中一貫校（大阪市立新今宮小学校、今宮中学校）
- ・彩都の丘学園（箕面市立彩都の丘小学校、彩都の丘中学校）
- ・能勢ささゆり学園（能勢町立能勢小学校、能勢中学校）
- ・とどろみの森学園（箕面市立止々呂美小学校、止々呂美中学校）
- ・大泉学園（堺市立大泉小学校、大泉中学校）
- ・飯塚市立小中一貫校幸袋校（飯塚市立幸袋小学校、幸袋中学校）
- ・高砂市立高砂中学校、高砂小学校

※ 下線 は研究発表会（報告会）への参加

## 先進校視察 義務教育学校（6校）

- ・和歌山市立伏虎義務教育学校
- ・守口市立さつき学園
- ・姫路市立白鷺小中学校
- ・凌風学園（京都市立凌風小中学校）
- ・多久市立東原摩舎中央校
- ・池田市立ほそごう学園

※ 下線 は研究発表会（報告会）への参加

## 9年間を貫いた 系統性、連続性のあるカリキュラムの編成

- ・「めざす子どもの姿」を共有
- ・15歳の子どもの姿を見据えて身につけさせたい力
- ・系統性、連続性のある指導計画

学年	① 小1	② 小2	③ 小3	④ 小4	⑤ 小5	⑥ 小6	⑦ 中1	⑧ 中2	⑨ 中3
① 小1	① 小1 算数 ② 小1 国語 ③ 小1 英語 ④ 小1 道徳 ⑤ 小1 総合 ⑥ 小1 体育 ⑦ 小1 音楽 ⑧ 小1 美術 ⑨ 小1 保健	① 小2 算数 ② 小2 国語 ③ 小2 英語 ④ 小2 道徳 ⑤ 小2 総合 ⑥ 小2 体育 ⑦ 小2 音楽 ⑧ 小2 美術 ⑨ 小2 保健	① 小3 算数 ② 小3 国語 ③ 小3 英語 ④ 小3 道徳 ⑤ 小3 総合 ⑥ 小3 体育 ⑦ 小3 音楽 ⑧ 小3 美術 ⑨ 小3 保健	① 小4 算数 ② 小4 国語 ③ 小4 英語 ④ 小4 道徳 ⑤ 小4 総合 ⑥ 小4 体育 ⑦ 小4 音楽 ⑧ 小4 美術 ⑨ 小4 保健	① 小5 算数 ② 小5 国語 ③ 小5 英語 ④ 小5 道徳 ⑤ 小5 総合 ⑥ 小5 体育 ⑦ 小5 音楽 ⑧ 小5 美術 ⑨ 小5 保健	① 小6 算数 ② 小6 国語 ③ 小6 英語 ④ 小6 道徳 ⑤ 小6 総合 ⑥ 小6 体育 ⑦ 小6 音楽 ⑧ 小6 美術 ⑨ 小6 保健	① 中1 算数 ② 中1 国語 ③ 中1 英語 ④ 中1 道徳 ⑤ 中1 総合 ⑥ 中1 体育 ⑦ 中1 音楽 ⑧ 中1 美術 ⑨ 中1 保健	① 中2 算数 ② 中2 国語 ③ 中2 英語 ④ 中2 道徳 ⑤ 中2 総合 ⑥ 中2 体育 ⑦ 中2 音楽 ⑧ 中2 美術 ⑨ 中2 保健	① 中3 算数 ② 中3 国語 ③ 中3 英語 ④ 中3 道徳 ⑤ 中3 総合 ⑥ 中3 体育 ⑦ 中3 音楽 ⑧ 中3 美術 ⑨ 中3 保健

## 9年間を貫いた 系統性、連続性のあるカリキュラムの編成

対象・校舎 の目標	編成や運用についての重要ポイント
共通事項	①児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	②児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	③児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	④児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	⑤児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	⑥児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	⑦児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	⑧児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	⑨児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること
指導事項	⑩児童や児童の発達段階に合わせた指導、事柄を整理して学ばせ、理解を促すとともに、系統的・体系的な学習の進め方を身に付けさせること

## 9年間を貫いた 系統性、連続性のあるカリキュラムの編成



指導内容・教科の繋がりが  
明確になる



ねらいとする学力の習得

## 9年間を貫いた 系統性、連続性のあるカリキュラムの編成

### 乗り入れ授業

小学校・中学校の教員が  
校種を超えて授業を担当

小学校児童

- ・専門性の高い授業によって、教科の学習を深めることができる
- ・中学校との繋がりを想起した学習ができる

中学校生徒

- ・小学校との繋がりを意識した振り返りなどの学習ができる



## 9年間を貫いた 系統性、連続性のあるカリキュラムの編成

### 小学校における教科担任制

小学校児童

- ・小学校と中学校の円滑な接続
- ・教科の内容をより深く学ぶことができる

教員

- ・系統性を踏まえた授業ができる
- ・個に応じた、より専門的な指導ができる



### 9年間を貫いた 系統性、連続性のあるカリキュラムの編成 特色のある取組

- ・外国語（英語）教育
- ・地域の「ひと」、「もの」、「こと」を題材にした学習
- ・キャリア教育
- ・系統性、連続性のある学び方

### 多様な異学年交流

#### 日常的な取組

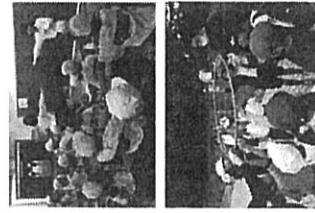
- ・登下校
- ・交流給食
- ・合同清掃
- ・ブック集会
- ・学習発表
- ・生徒会児童会活動



### 多様な異学年交流

#### 学校行事での取り組み

- ・合同遠足
- ・合同運動会
- 上級生が様々な役割を担う
- ・小学校の音楽会への参加
- ・中学校の文化祭への参加



### 多様な異学年交流

#### 異学年による合同授業

- ・総合的な学習
- 3年と8年、4年と7年
- ・体育
- 1年と6年
- ・算数
- 3年と8年 など



### 多様な異学年交流

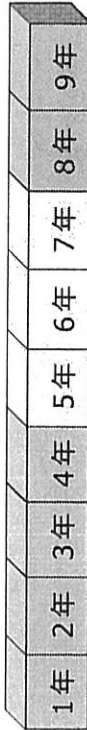
- ・中学生がやさしくなる。
- ・上級生がリーダーシップを発揮する。
- ・下級生は、「将来の自分の姿」をイメージし、見通しを持つことができる。
- ・自尊感情が向上する。

### 学年段階の区切り

#### 6-3制



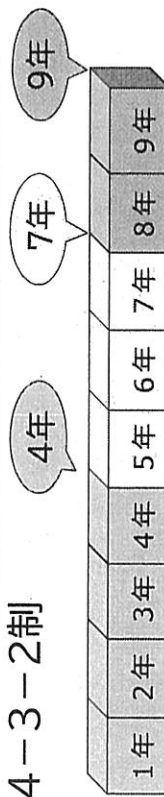
#### 4-3-2制



教育活動や指導上の区切り(学年ごとの学習内容は変わらない)

### 学年段階の区切り

#### 4-3-2制

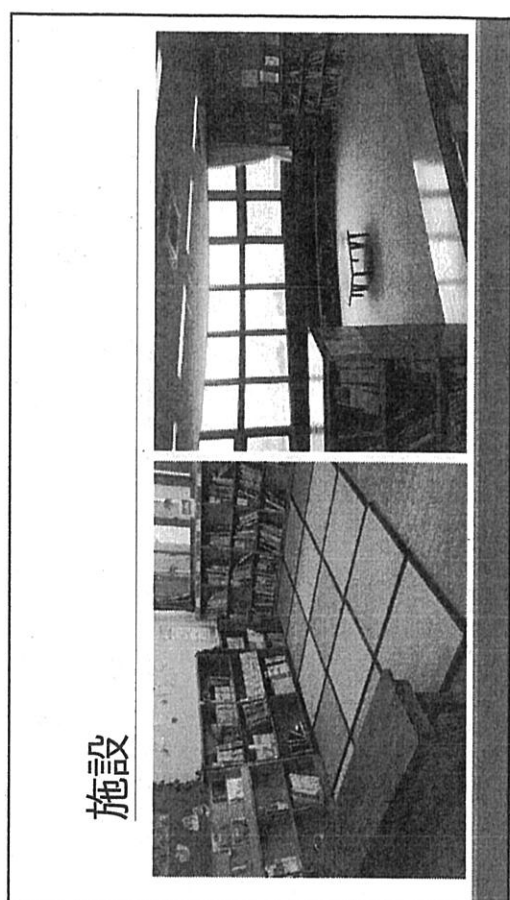
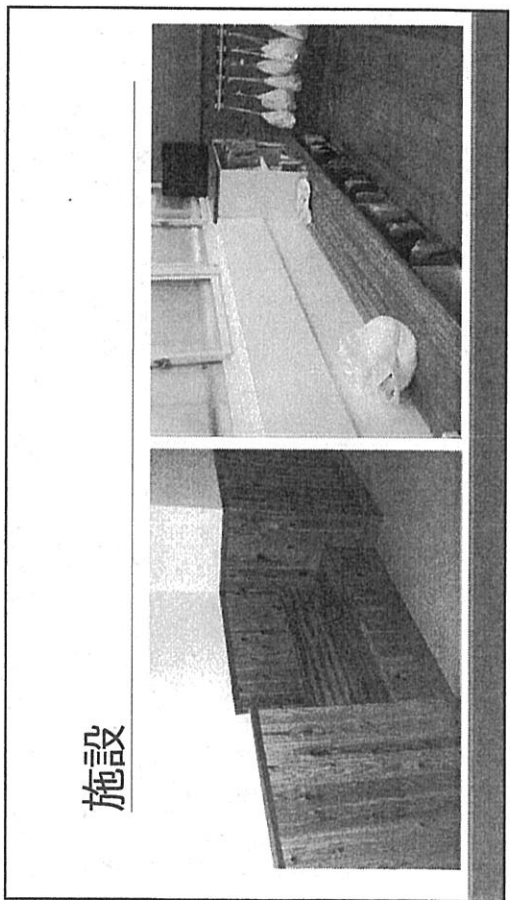
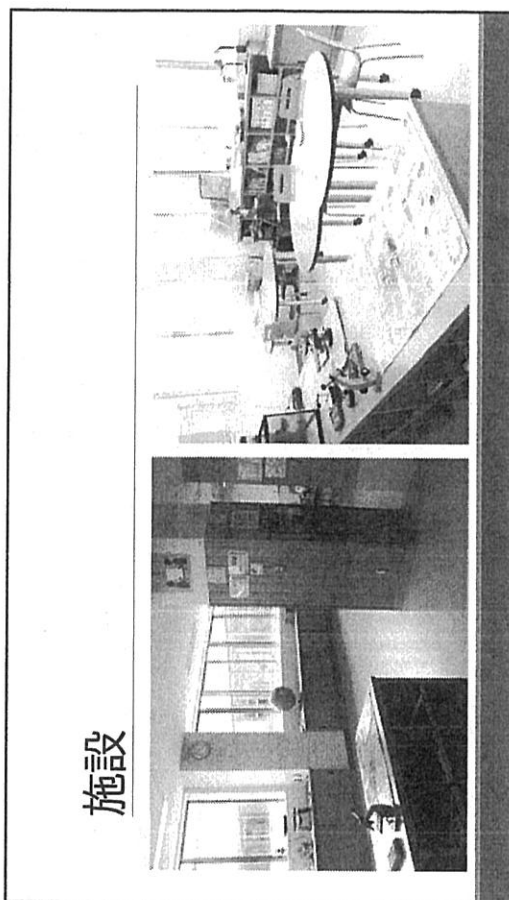
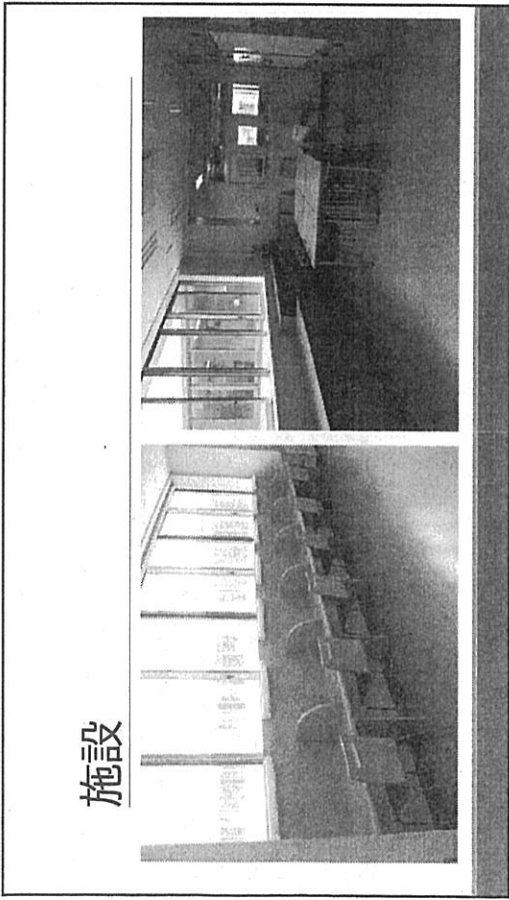


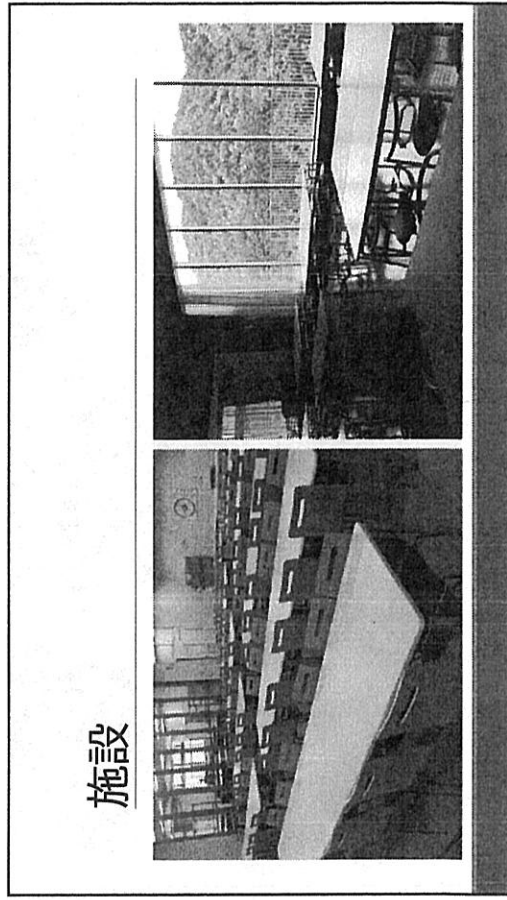
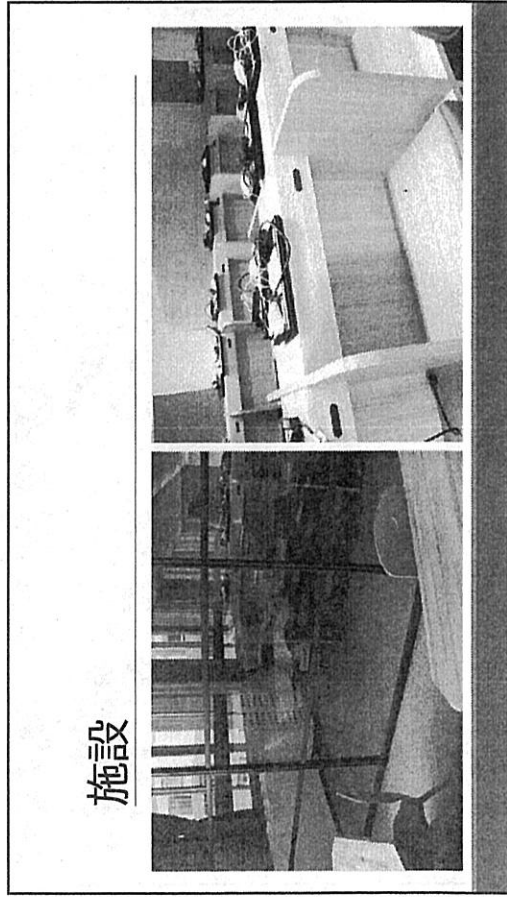
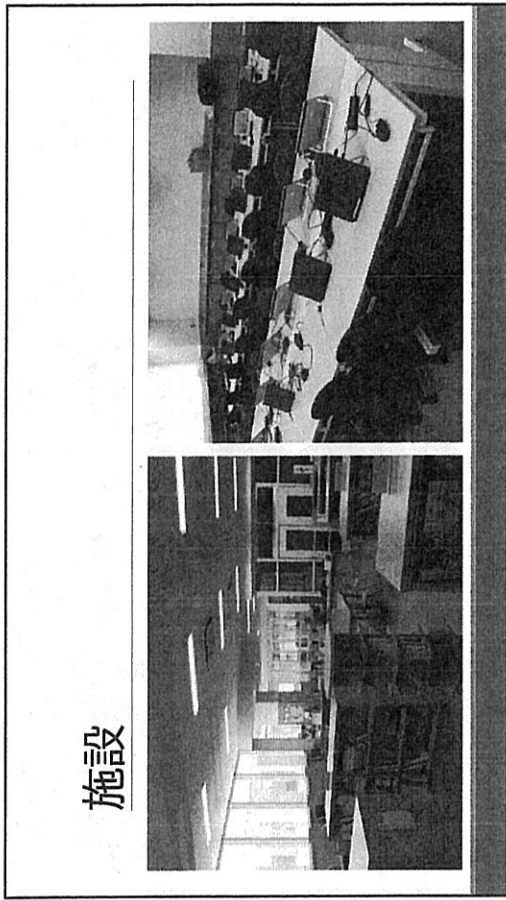
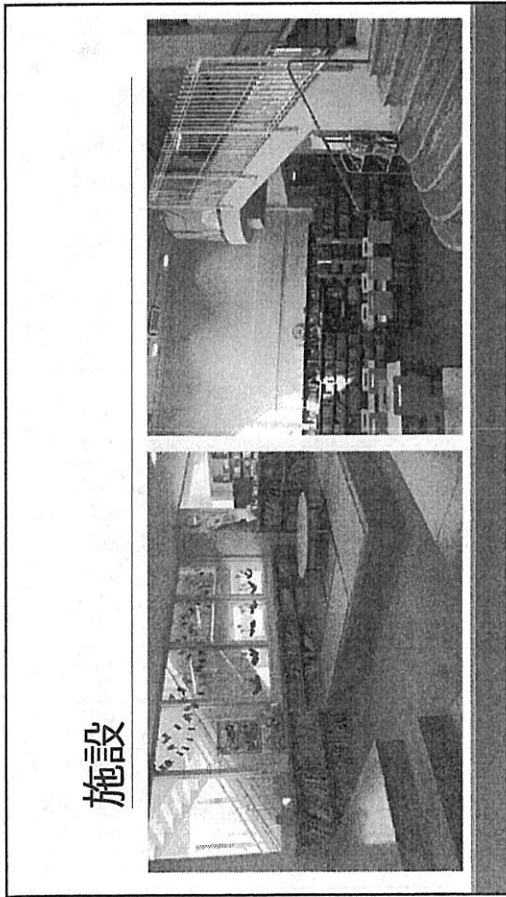
- ・4年、7年、9年を各期の節目として児童生徒を育てる。
- ・児童生徒は、リーダーを複数回経験する。
- ・学級担任制と教科担任制をゆるやか(なめらか)に接続する。

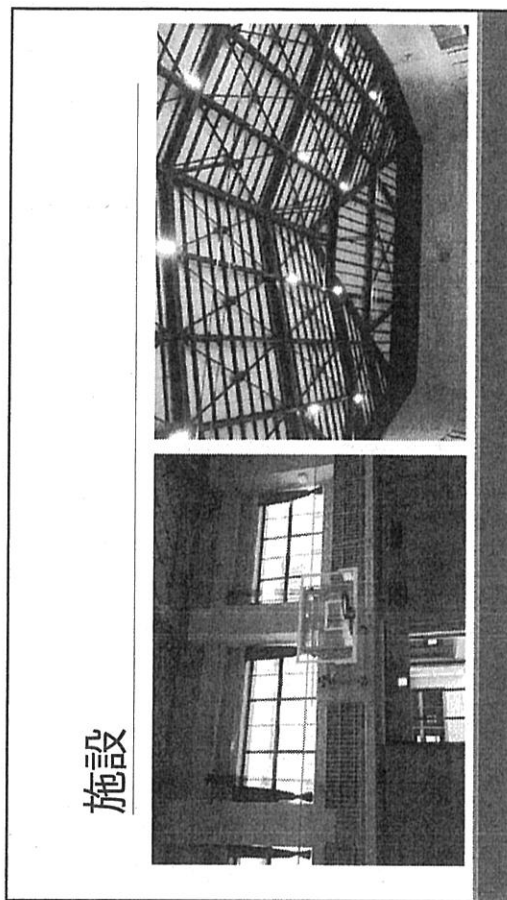
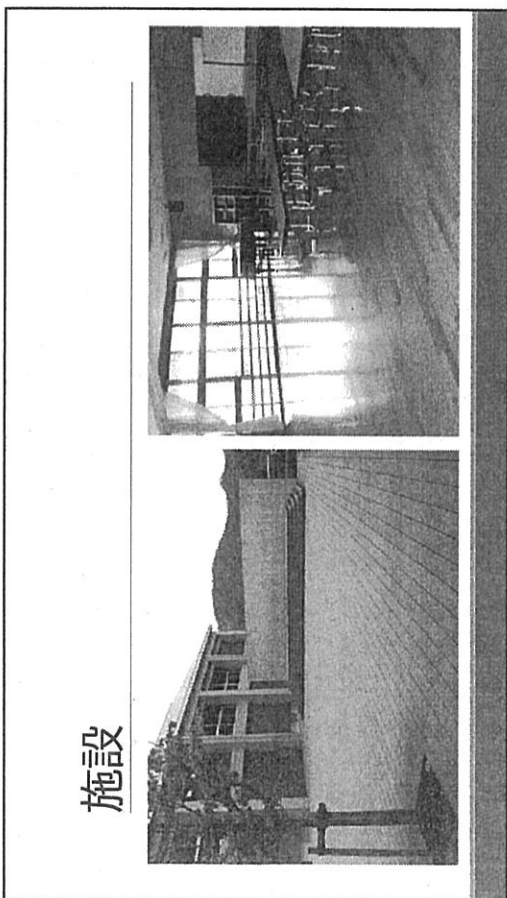
### 施設











今後の研究課題

- ・9年間を貫いたカリキュラムの作成
- ・9年間を貫いた〇〇(三木市の特色)
- ・異学年交流、異学年による合同授業のあり方

↓

小中連携教育から小中一貫教育へ

